

日本赤十字九州国際看護大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程
課題研究および最終試験の審査基準

日本赤十字九州国際看護大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程課題研究および最終試験の審査基準等を次のとおり定める。

1. 課題研究の審査基準

以下の審査基準について、4段階の評価をもって評価する。

- 1) テーマとして取り上げる目的・意義を適切に述べている。
- 2) 研究目的にふさわしい研究方法である。
- 3) 研究目的に沿って結果が客観的に記述されている。
- 4) 考察は、結果を踏まえて適切な文献を引用し、自分の考えを述べている。
- 5) 論旨の一貫性がある。
- 6) 課題研究の構成・表現・表記法が適切である。

2. 最終試験の審査基準等

最終試験は、課題研究に関連した科目を中心にして、本学大学院の目標とした修士段階での精深な学識が体系的に修得されているかを口頭により実施する。

- 1) 提出された特定の課題研究の成果について説明できる。
- 2) 特定の課題研究の成果を看護実践に結び付けて説明できる。
- 3) 高度な専門性を必要とする看護職者として修得した能力について説明できる。
- 4) 修得した能力をどのように今後の活動に活かすか具体的に説明できる。

3. 最終評価

課題研究審査および最終試験を総合して、以下の4段階で評価する。なお、D の判定がつけば、授業科目である「課題研究」を不合格とし、課程修了を認めない。

- A：基準の 80%以上を満たしている。
B：基準の 70%以上を満たしている。
C：基準の 60%以上を満たしている。
D：基準の 60%を満たしていない

附則

この要領は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。なお、令和 5 年度以前に入学したものについては、なお、従前の例による。